

町の事業は、予算を確保して主体的に実施する事業のほか、民間企業や町民などの協力を得ながら実施する事業もあります。

5月のできごとで特に民間の方々などの協力の下で実施している事業をご紹介します。

**豊かな自然、未来の森林を**

**①「あびらエネモの森植栽活動」**

平成20年度から5年をかけて、10万本のカラマツを町有林に植樹する北海道電力株式会社（ほくでんグループ）の取組みがあります。

この事業は北海道が地球温暖化防止（二酸化炭素吸収）、水源かん養、森林災害の防止など環境貢献を推進する「ほっかいどう企業の森林づくり事業」として始めたもので、「森林づくりでイメージアップを」とPRして植樹を行いたい企業と森林提供者を北海道が募り、条件のあった双方を結びつけて事業を進めるものです。

安平町追分旭地区（安平ダム跡地）の町有林50畝を北海



道電力株式会社にて5年間無償で貸付し、同社によって植樹や管理を行うため、経費的に大きなメリットがあるだけでなく、町の水源として利用されている安平川上流部の地域の森林保全と環境対策に取組むことで安心安全を確保する町の考えにも合致した重要な事業となっています。

「子どもたちの時代の森林づくり」を目指して、今年は5月11日に実施されたあびらエネモの森植樹会では同社の

社員や役員職員など70名ほどが参加し、約200本のカラマツの苗木を植樹しました。

**②「協働の森づくり 親子で植林をしよう」**

年に数回、子ども達を対象に自然体験教室など開催する「学校のドングリの子孫を残す会」（通称ドングリの会）があります。

この会は旧早来町時代に起きた町の水源トキサラムマップ川上流域域に持ち上がった開発行為などの問題にも着目するなど、広い角度から森や自然に接する活動を行なっており、当時の開発行為の森林伐採により雨水と共に流れ出た

平成7年から今までに実施された主な事業
森林教室
自然体験教室
サイバイバルキャンプ
観察ガイドブック製作
カヌー教室
各種植樹
※無償提供された苗木の数は1,400本を数えます。

土砂が泥水となって浄水場の取水に影響が出たことで、森や自然の大切さは町民の住環境の安全にも結びつくことなども重要視し「あびらエネモの森」の活動とともに「未来の森づくり」に大きな力を提供していただいています。

今年度3回目となる森林教室は、5月22日に植樹会が実施され、道道早来千歳線沿い（臨空工業団地前）に、親子が参加しツツジを植樹しました。今後、自然に触れながら森を守るために私たちができる活動を中心とした内容で教室を開催して行きます。



**花いっぱい運動**

5月22日追分旭地区の町内会で各公園や道路脇の花壇などに花植を行いました。

花の苗は町からの交付金（花苗代）で用意されるものや各町内会で追加して用意するものなど、色合いも工夫しながら手際よく作業が進められ、色鮮やかな花壇が作られました。早来地区では6月5日以降、各自治会ごとに行われ、初夏を迎える準備に取り掛かります。